

+ オンナプラス

女+フェスティバル

2026. 3. 8 Sun.

9:10開場 / 9:30 - 16:30

参加費：1000円

(自己申告割引あり)

京都市男女共同参画センター

ウィングス京都

京都市中京区東洞院通六角下る

▼ 応援カンパもよろしく!

UDトークによる情報保障あり 

シンポジウム

「なぜ今『女のフェスティバル』なのか？」

9:30 - 12:00 2階・イベントホール

ゲスト：ウトロ農楽隊

斎藤真理子さん(韓国語翻訳家 / ハン・ガン『別れを告げない』等)

進行：女+フェスティバル実行委員会



4つの分科会

1. 部落フェミニズムから広がる地平
2. 個人的なことは政治的：みんなで話そう！ 多文化共生
3. 自分を大切に 自分を守るために 言いたいことを言おう
4. なめたらアカンで！ 女の労働～何が評価され、何が排除されるのか

すべて13:00 - 15:15 詳細裏面



「女のフェスティバル」は、かつて国際女性デーにちなんで女たちの手作りの催しをしようと1986～95年の10年間にわたって京都で開催されてきました。今回、交差する立場を生きる女や性的マイノリティに開かれた集まりにするため、名称を「女+(オンナプラス)フェスティバル」と改めて復活させることにしました。

お申し込み

<https://260308opf.peatix.com>、もしくは右のQRコードからチケット購入画面にアクセスしてください(割引チケットあり・カンパ歓迎!)

2月28日締切(託児を希望の方は2月8日までにお申し込みください)



ご注意

会場に一般来館者用の駐車場はありませんので、電車・バスをご利用ください。チケットをPeatixで購入できない方は、onna.plus.fest@gmail.com までご連絡ください。

SNS

X(旧Twitter) @OnnaPlusFest

Instagram @onnaplusfestival_0308

Facebook <https://x.gd/onnaplusfest>

Blog <https://onnaplusfestival.blogspot.com>



主催：女+フェスティバル実行委員会

後援：京都市

この催しは認定NPO法人女+フェスティバル実行委員会(ONNA)基金の助成を受けています



フェスティバル タイムテーブル

9:30-
9:50-12:00

ウトロ農楽隊による演舞

シンポジウム「なぜ今『女のフェスティバル』なのか？」

基調提案 (女+フェス実行委員会)

斎藤真理子さんのお話 (聞き手: 柴井香代子)

実行委員会メンバーからの発言

フリーディスカッション

FIGHT

2F
イベントホール



戸籍・ネットワーク・労働・ケア・反差別・身体の権利……女たちをとりまく様々な課題は、30年前からほとんど変わっていません。それぞれの課題を解きほぐしながら新たなつながりを求め、世界を見る力をつける、蓄えるために。韓国文学を数多く翻訳してきた斎藤真理子さんをお迎えして、時代を見通し、場所や立場、世代を超えて出会うフェスティバルの意義を考えます。

12:00-13:00

お昼休み (会場でランチ等の販売はありません)

2階ホワイエでシスターフード書店 Kanin さんによる書籍販売や、協賛団体による展示・資料配布も行っています。



2F
セミナー室A

分科会① 部落フェミニズムから広がる地平

女+を生きにくくさせている日本社会の構造・規範をとらえ、これまでの闘いから学びたい。個々の経験をないがしろにせず、他者とつながる言葉を探し、自分が変わり社会を変えたい。部落女性たちが口火を切ります。みんなでしゃべってパワーアップ! /コーディネーター: アナーカ部落フェミニストの会



2F
セミナー室B

分科会② 個人的なことは政治的: みんなで話そう! 多文化共生

様々なルーツと文化的背景をもつ「女+」たちが自由に語り合う分科会です。各々の場所で日常的に直・間接的に経験されていることを、語り合える場にしましょう。商店街や団地など、生活の場や多様な学びの場を結ぶ京都の多文化共生の取り組み事例もご紹介します。 /コーディネーター: 姜喜代、姜ムニ

すべて
13:00-15:15

分科会③ 自分を大切に 自分を守るために 言いたいことを言おう

「わたしの心や体はわたしのもの」というのはフェミニズムの大切なメッセージです。自分を大切にすることや、自分を守ること、自己主張について一緒に考えませんか? ヨガ体験タイム (講師: 吉野鞆) あり。

/コーディネーター: 周藤由美子 (ウィメンズカウンセリング京都)

地下 1F
音楽室

分科会④ なめたらアカンで! 女の労働

~何が評価され、何が排除されるのか

不安定雇用と低賃金が当たり前となり、「自己責任論」がまかり通る中、性別や雇用形態による差別が広がっています。女たちの仕事を可視化して、尊厳ある働き方と同一価値労働同一賃金の実現への道筋を考えたいと思います。

/コーディネーター: 屋嘉比ふみ子 (パイ・エクイティ・コンサルティング・オフィス)

2F
ビデオシアター

15:30-16:30

全体交流

1日の感想を持ち寄り、互いを尊重しながら楽しく交流しましょう。



2F
イベントホール

10:00-15:00

ゆったりスペース (運営: SOGIE オープンルーム)

性的指向やジェンダー・アイデンティティについてもおしゃべりできる場所。休憩にもご利用ください。

2F
和室 A & B